

阪神

HYOGO



六甲に「展望ドーム」

ヒノ材で枠 ■ 冬場に閉氷も

神戸市灘区の六甲山頂に、自然を体感できる展望台「六甲展望台」がオープンした。写真、新井誠哉撮影。カブを並べにしたようなスノーグな外観で、標高約200mから、明石海峡まで一望できる。

2008年に閉鎖された、凍ったままで約30年の景色を見渡せる「国産十国展望台」の跡地に「阪神総合レジャー」（本社・大阪市）が開業した。投資は武庫川中区の建築家三井一博氏（37）が担当した。

直径約10mのドーム形。真ん中に高さ約10mの塔があり、柱間に直立した幹筋みと合わせてまるで「木の木」のように見える。木材はヒノキ材で、泡た込みの美しい冬景には樹皮が付く無垢が楽しめるという。

屋内には冬場に凍らせた氷を最大20%保管できる「氷室」があり、7月末からは氷室を通して冷たい風を体感できる体験会も開く。

入場料は大人300円、子ども200円。問い合わせは六甲ガーデニングス（078・884・2811）へ。